

1. はじめに

このまちなみウォッチングは、良好な景観形成を進めるため、その担い手である市民の皆様へ、景観は共有財産であることを改めて考えていただくきっかけ作りとして行うものです。

市民の皆様が、自分たちの住むまちを観察し、景観資源を知り、親しみを持ってもらうとともに、景観づくりの意識の醸成を図ることを目的としています。

昨年度に引き続き、神奈川県建築士事務所協会相模原支部と共催し、一級建築士の説明を受けながら、景観資源を視察しました。

2. 開催日時

第1回：10月12日（金）

第2回：10月19日（金）

各日とも午前9時半～午後4時

3. 参加人数（抽選）

第1回：15名（3名欠席）

第2回：17名（1名欠席）

たくさんのご応募ありがとうございました。

4. 行程

水資源が豊富な相模原ならではのスポット8カ所をマイクロバスで巡りました。

視察 烏山用水



江戸時代、水田開発のために相模川の水を引き入れて作られた農業用水路であり、「農村景観百選」に入選しています。用水路沿いを歩けるよ

う、デッキが設置されており、水を身近に感じることができスポットとなっております。

視察 中ノ郷のヤツボ



「ヤツボ」と聞いてピンとこない方は多いかもしれませんが、ヤツボとは、湧水を溜めた場所のことをいいます。地元の方々の整備もあり、綺麗な状

態のものを確認できました。近隣には「大島水場のヤツボ」「古清水上組のヤツボ」もありますので、興味のある方はぜひ行ってみたいはいかがでしょうか。

視察 小倉橋

参加希望者に対して事前に記入していただいていた「市内お気に入りの景観」でトップに輝いたのが、この新旧小倉橋です。新旧の小



倉橋と一緒に写真に撮ろうと参加者の皆様も楽しんでいただけました。近くには県の発電所があり、排出された水流も確認することができました。

視察 城山湖・金刀比羅宮



今回のテーマは「水」でしたが、城山湖の整備中で、湖の水が抜けてしまっていました。「長年住んでいるが、初めて見た」との声もあり、普

段と違った様子を楽しんでいただきました。城山湖から歩いて向かった金刀比羅宮では、かつて雨乞いの行事が行われていたという話があるそうです。

視察 城山隧道

大正3年(1914年)に作られ、現在でも横浜方面へ水を送り続けている現役の水道です。当時は、笹子トンネル(旧国鉄)に続いて日本で2番目の長さのトンネルだったそうです。煉瓦造りで雰囲気がありますが、道から少し離れた場所にあることから、意識していないと通りすぎてしまうこともあるかもしれません。御覧いただく際にはご注意ください。



視察 青山沈殿池



横浜市水道局の職員の方々の案内で施設を見学させていただきました。沈殿池の歴史や、道志川の水が横浜まで送られていること等、水に関する興味深いお話をしていただき、相模原市の水資源の豊かさを感じることができました。

視察 道保川公園



風致公園に指定されており、夏には蛍が見られることで知られている道保川公園ですが、実は公園内で水が湧いている湧水地でもあります。参加者の中には、身近に水が感じられるこの公園が好きで、よく散歩に来ると教えてくださった方もいらっしゃいました。

視察 鹿沼公園



巨人でいらぼっちの足跡が沼になったという言い伝えがあります。また、「^{ちゅうみず}宙水」と言われる地表から浅いところに存在する

地下水が溜まった場所でもあるそうです。

参加者の感想

【視察先ベスト3】

青山沈殿池/ 小倉橋/ 道保川公園

【景観の阻害要因ワースト3】

街中にある電柱や電線/ けばけばしい屋外広告物/ 高圧電線などの高い鉄塔

【景観まちづくりに求めるものベスト3】

景観を眺望できる場所の整備/ 商店街の整備/ 市民が参加できる体制づくり(2位は同率)

【その他全体ご意見】

- ・潤水都市さがみはらを感じられました。
- ・普段なかなか見れない所も見学でき有意義でした。
- ・知らない所に様々な水と関係ある景観があり感銘を受けた。
- ・広報でたまたま見て興味を持った。リアルぶらタモリ相模原版のようで、今後も是非参加したい。
- ・緑と水のコントラストが非常に良かった。
- ・今回の見学がきっかけで水に対して、景観に対する意識が高まったと思う。
- ・今まで3回ほどまちなみウォッチングに参加させていただきましたが、今回が一番説明良し、市の方も親切で有難かったです。誠にありがとうございました。

【事務局より】

今年度は2回開催となったまちなみウォッチングですが、両開催日とも定員を上回る応募をいただきまして誠にありがとうございます。

本市は「潤水都市さがみはら」をキャッチコピーとしていますように、湖や川など豊かな水資源を感じていただけるスポットが数多くございますことから、下見や検討を重ね、水と景観を絡めたスポットを選択し、プランを作らせていただきました。

参加者の皆様を始め、このニュースを御覧になっている方が、まちなみウォッチングを通じて景観に関心を持っていただけたのなら幸いです。